

子どもの自己評価

低い自己評価

対人緊張

対等な対人関係確立の困難

「よい子」的

「ダメな自分を見透かされないよう振る舞う」

- 封印された攻撃行動
- 愛されるだけの存在

回避的

「ダメな自分を人前にさらしたくない」

- 3つの回避
 - 1 対人回避
 - 2 責任回避
 - 3 競合回避
- 指示待ち

病者的

「ダメな自分は身体の不調のせいにする」

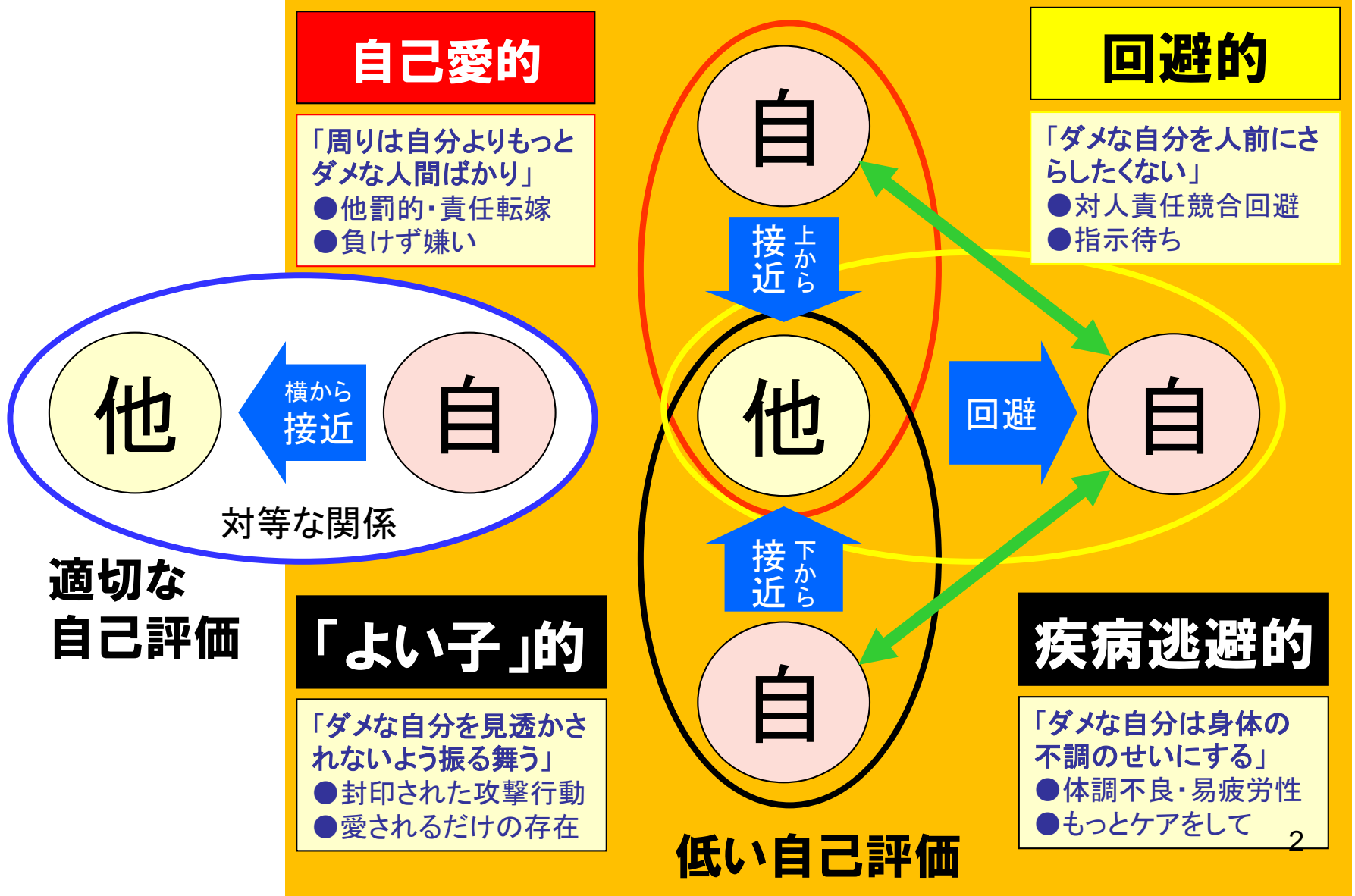
- 体調不良
- 易疲労性
- 「キレル」「むかつく」の身体的表現

自己愛的

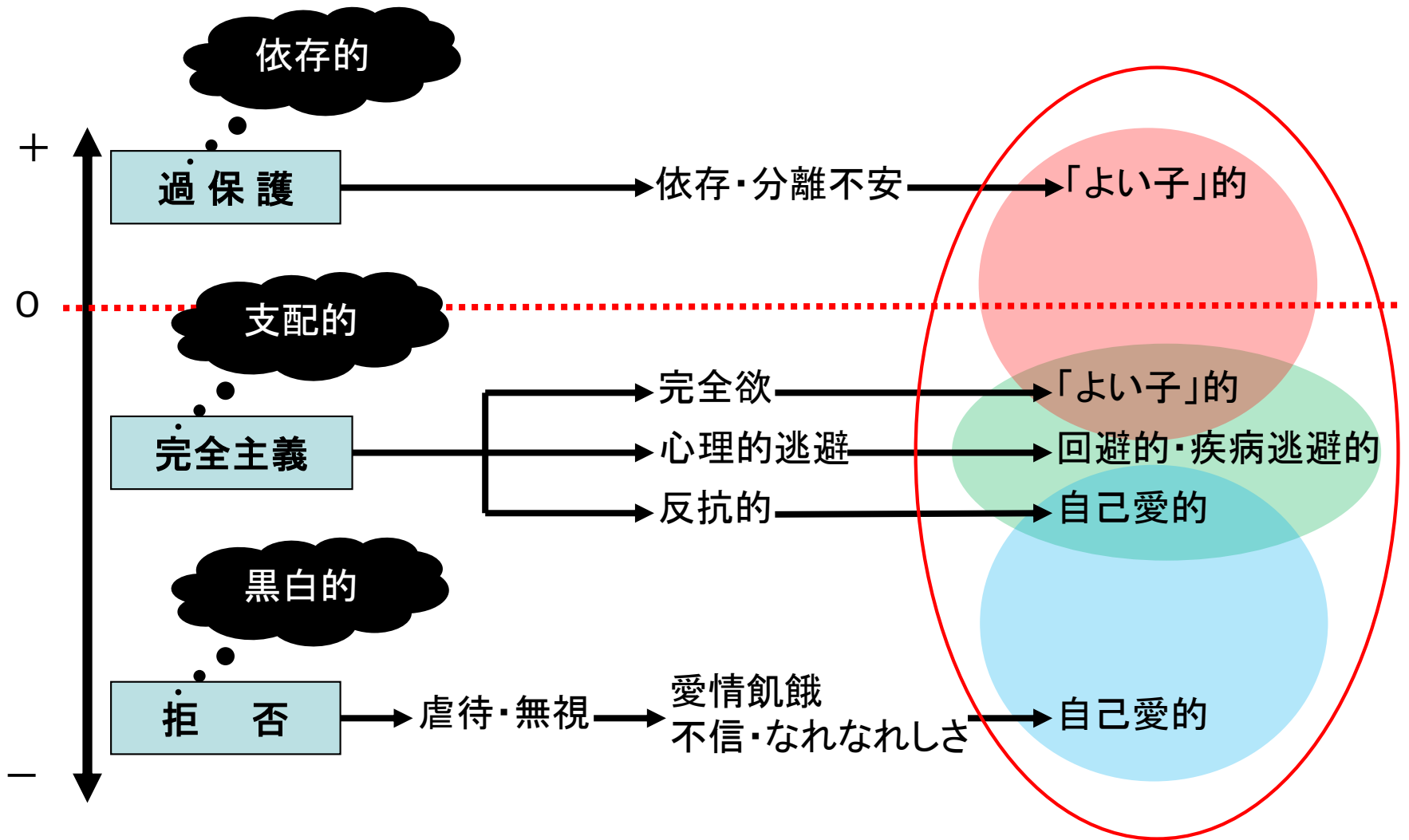
「周りは自分よりもっとダメな人間ばかり」

- 他罰的
- 責任転嫁
- 負けず嫌い

友人関係における態度



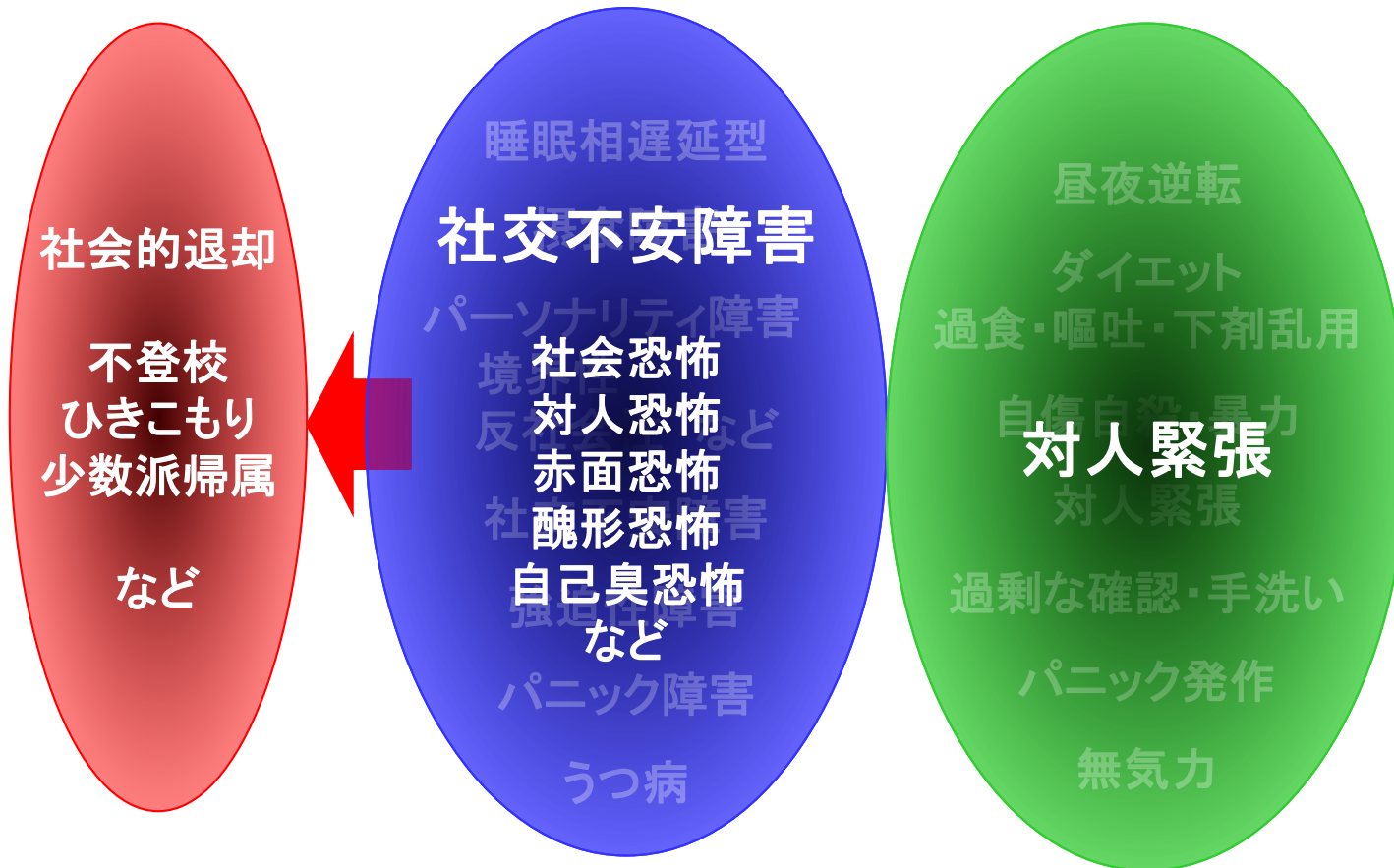
親の養育態度と子供の反応



親の態度

子供の態度 3

社会レベルにおける対人緊張

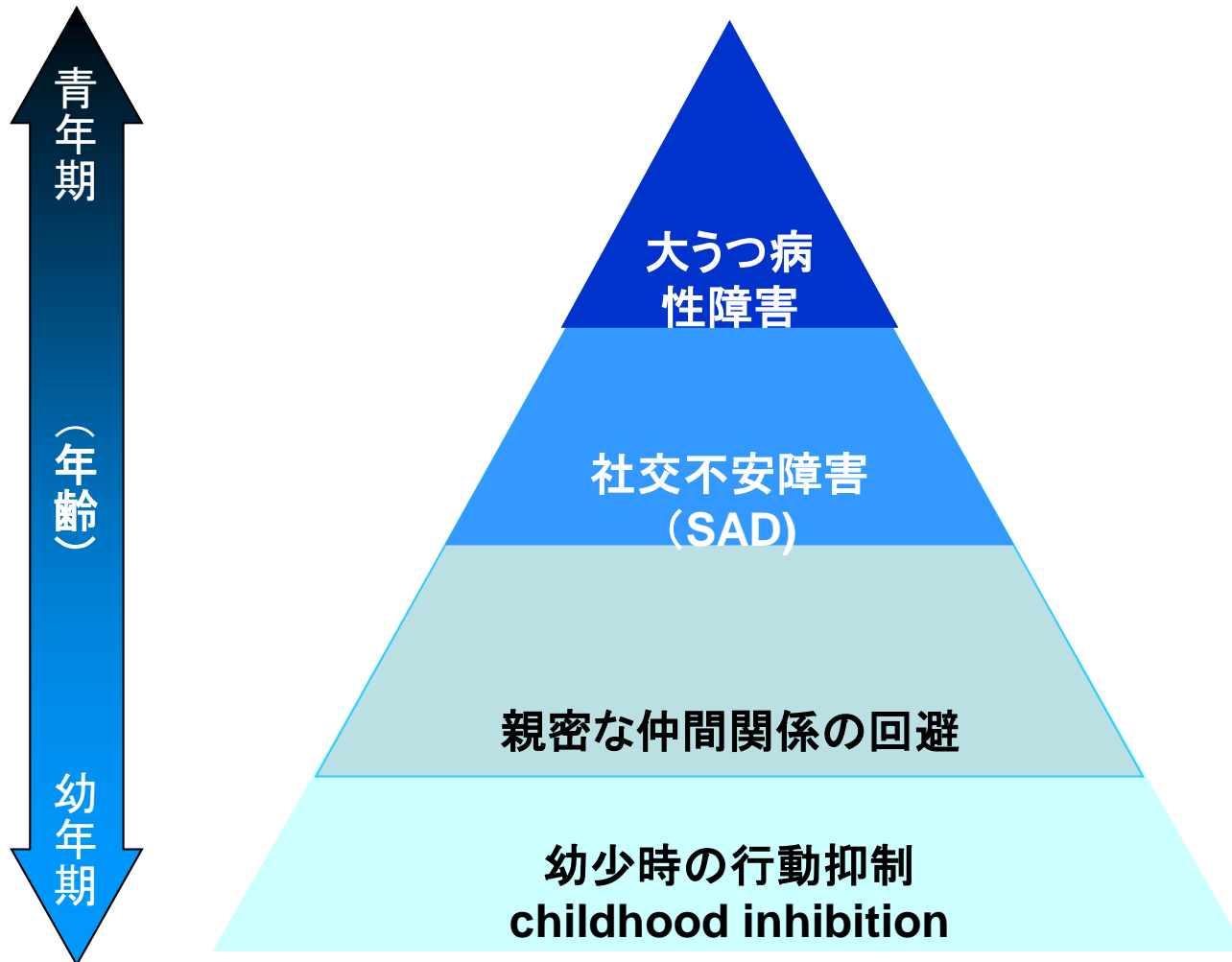


社会レベル

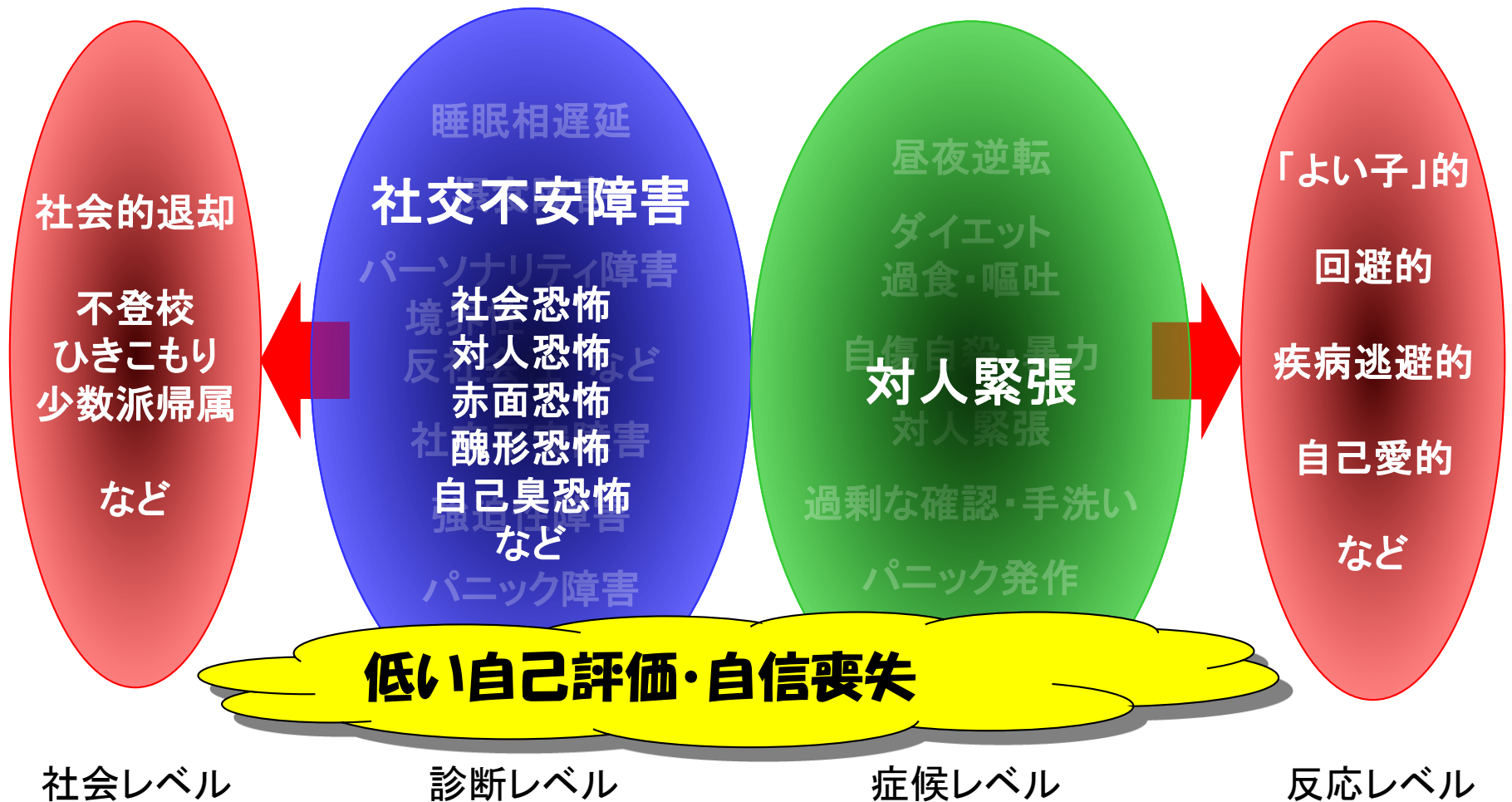
診断レベル

症候レベル

社交不安障害のプロトタイプ



対人緊張と自己評価



社会レベル

診断レベル

症候レベル

反応レベル

社会的退却の家族状況

第二の悪循環

自己愛的な対象関係が優位
暴力・恫喝・巻き込み型の強迫行為
万能的・魔術的な解決を要求

【本人】 お前のせい(他罰)



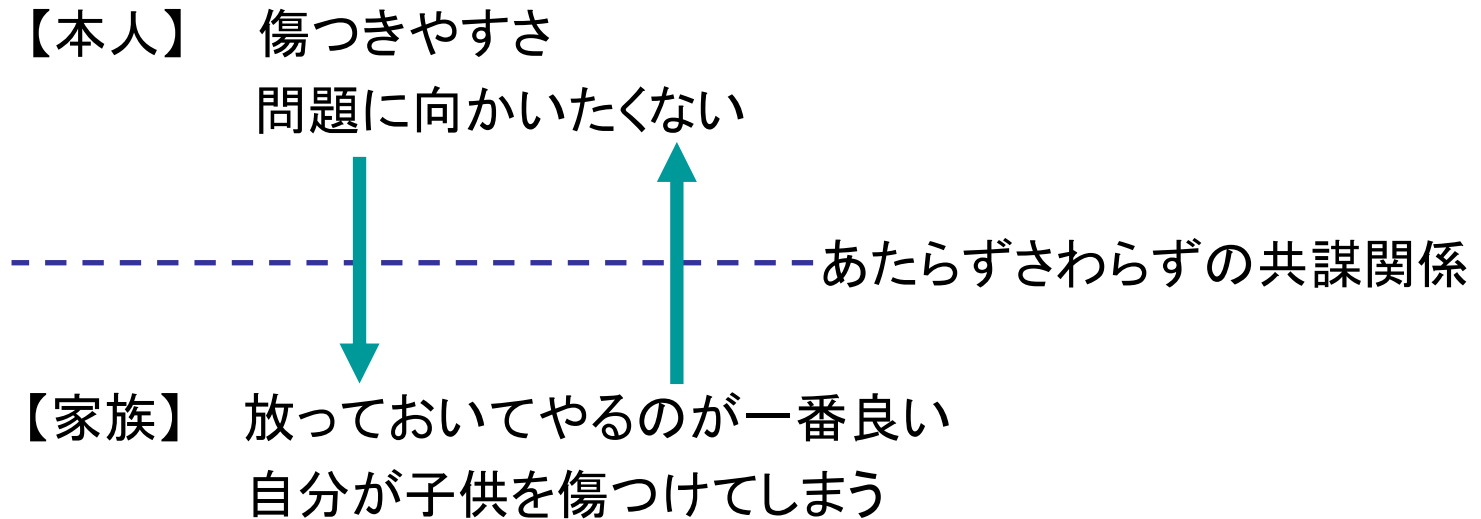
-----原始的な二者関係・親子の境界曖昧

【家族】 私のせい (自罰)

自責的罪悪感が強い
“殴られても召使い扱いされても手を離さずにいる”

社会的退却の家族状況

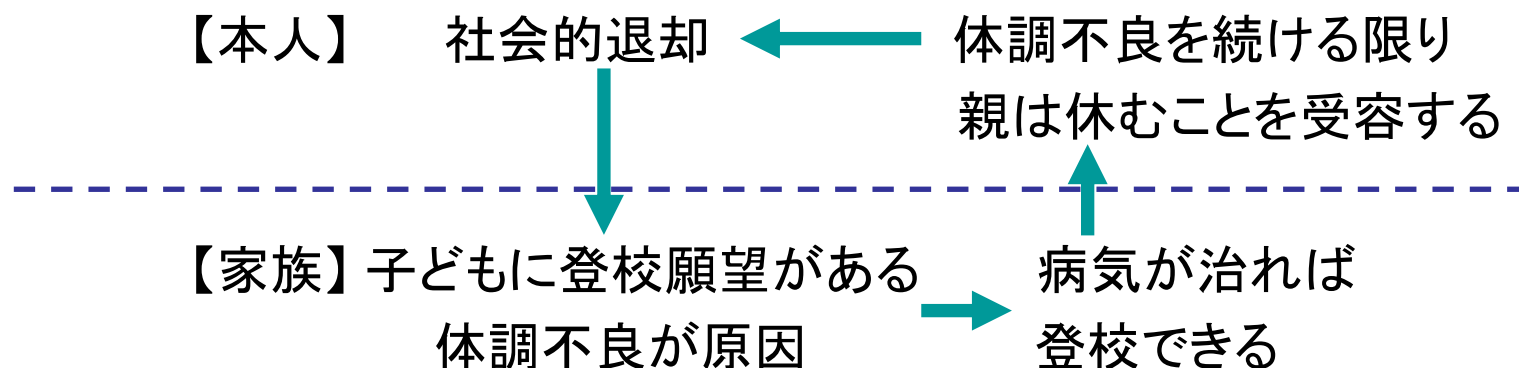
第三の悪循環



誰にも援助を求めない
本人の体験 “分かりすぎてしまう”

社会的退却の家族状況

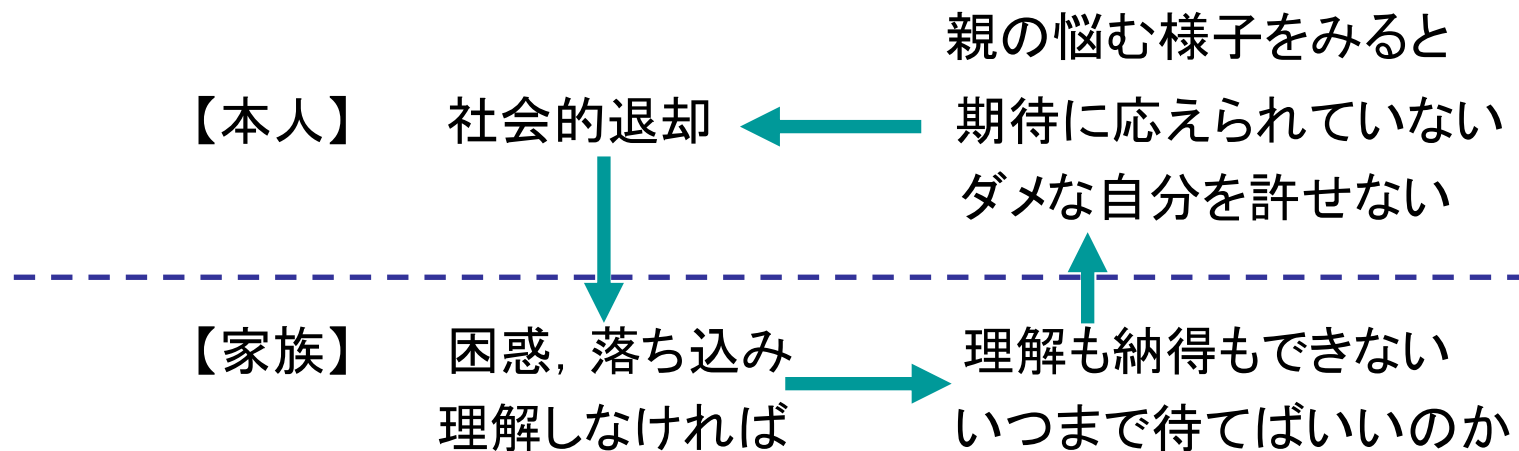
第四の悪循環



親も子どもも登校困難が体調不良のためと考え
子どもの心の問題から親子ともに目をそらす
子どもはやがて体調不良を親を操作する手段にする
登校したがつている子どもという親の期待が
子どもの登校困難を持続させていることに気付かない

社会的退却の家族状況

第五の悪循環



子どもに対する親の信頼感が失われ抑うつ反応に
これまで「よい子」で何ら問題がなかったのに
子どもの本当の気持ちを理解していないというジレンマ
理解できない親の自分にも問題があるのでは